

経済学研究科 論文博士申請に関して

1. 予備審査の申請

(1) 申請資格

申請資格を有するのは、以下いずれかの者とする。

(a)大阪府立大学、大阪市立大学、そして、大阪公立大学大学院経済学研究科の博士後期課程（または後期博士課程）の単位修得退学者。

(b)大阪府立大学、大阪市立大学、または、大阪公立大学のいずれの大学院経済学研究科博士課程に在籍していなかったが、優れた研究業績（論文または著書）があり、大阪公立大学経済学研究科の教員による内発的な推薦がある者。
これには、他大学の博士前期課程修了者、博士後期課程単位修得退学者、そして、博士後期課程修了者を含む。

(2) 提出書類

申請者は、予備審査にあたって以下の書類を必要部数のもと提出しなければならない。

【申請資格(a)により申請する者】

②から⑦までは、電子ファイルでの提出も必要とする。

- ① 予備審査申請書 1 部
- ② 学位論文 3 部
- ③ 論文要旨 3 部
- ④ 論文目録（学位論文に含まれる論文やその他論文の公表状況を記載） 3 部
- ⑤ 履歴書 3 部
- ⑥ 研究教育業績書 3 部
- ⑦ 博士後期課程単位修得証明書 1 部

【申請資格(b)により申請する者】

②から⑧までは、電子ファイルでの提出も必要とする。

- ① 予備審査申請書 1 部
- ② 学位論文 3 部
- ③ 論文要旨 3 部
- ④ 論文目録（学位論文に含まれる論文やその他論文の公表状況を記載） 3 部

- ⑤ 履歴書 3 部
- ⑥ 研究教育業績書 3 部
- ⑦ 博士後期課程単位修得証明書または博士前期課程修了証明書※ 1 部
- ⑧ 大阪公立大学経済学研究科の教員による推薦状 1 部

※博士後期課程の在籍がない場合は、代わりに博士前期課程修了証明書を提出すること

(3) 博士論文の様式

博士論文は日本語又は英語によって記述するものとする。その様式は、A4 版横書きとし、四方 20 mm 程度の余白のもと、12pt のフォントで行間を 1.5 行とする。論文要旨は、A4 版横書きとし、12pt のフォントで行間を 1.5 行とする。要旨分量の目安は、日本語の場合、3,000 字程度、英語の場合、1,500 English words 程度とする。

(4) 申請期限

必要書類の提出先は大学院教務事務とし、随時受け付ける。

2. 予備審査の結果に関する連絡

予備審査に基づく教授会の審議後、予備審査結果通知書を送付する。この送付は、予備審査の申請の受理から 3 カ月以内を目安とする。申請者からの質問に対しては、必要に応じて大学院教務委員が対応する。

3. 本審査申請手続

本審査が承認された場合、以下の手続きを要する。

(1) 学位授与申請書の提出

学位授与申請書 1 部を提出する。

(2) 学位論文審査料の納付

大阪公立大学の授業料等に関する規程第 3 条第 8 項に基づき、学位論文審査料 57,000 円を納める。

(3) 口述試験の日程に関する連絡を受けたもと、対面のもと口述試験を受ける。

日程に関する調整は適宜行う。

4. 本審査における口述試験

本審査は論文審査とともに、口述試験を伴う。口述試験では、質疑応答により、研究に対する理解を確認する。試験時間は審査委員会に委ねられる。なお、本審査の期間は、6カ月を目安とし、口述試験の日程は、適時連絡する。

5. 学位論文内容の公表

博士号授与が決定されたもと、1年以内に下記①または②の方法で博士論文を公表しなければならない。ただし、②については、申立書を学長に提出し、それが認められた場合のみ可能である。

①学位論文全文(データ)

②学位論文の要約(データ)、製本2部

(附則)

この申請に関する申し合わせは、2023年度から施行される。